

夢

追

い

人

できる家族が増えて欲しい



小川楽器(株)
代表取締役 小川義則さん

お話を伺って、個人的に興味深かったのは、小川楽器店で「マイCD」を製作できることだ。レコーディングスタジオで、8トラックから32トラックまでのデジタルレコーディングをすることができると。編集もOKである。機材は全てプロ用が揃っている。しかも安価に。例えば、十六トラックレコーディングで、一万二千円/hとなっている。自分の作品をCDにできるとは、何とも胸がわくわくするではないか。皆さんも挑戦してみてはいかがだろうか。

小川楽器は、昨年、ジークス天神店(七F)をオープンさせている。本社の柳川店、大川店、久留米店、鳥栖店、小郡店と共に、これで六店舗になる。音楽教室は、四十二会場を展開させている。

広域に展開する理由について、小川さんは、「この業界も、しのぎあい」が激しく、いわゆる「テリトリー」もなくなってきています。だから柳川・大川地区に留まっていたのでは、



music inn
OGAWA

競争にならないというのが率直なところだ。」「と云う。

音楽に関わる事業展開も多岐にわたっている。どのようなものであろうか。列挙してみると次の通り。CD、DVD、V・D・E・Oなどの音楽映像ソフト販売、アコースティックからデジタルまでの様々な楽器販売、ピアノの調律、再生、ギター、管楽器のリペア。ヤマハ音楽教室、英語教室。音楽指



ホームアンサンブルが



ジークス天神店(7F)



いろんな人に向けての
音楽教室がある

導スタッフ派遣事業、コンサート・イベント・セミナーの企画&プロデュース、事業所・ブローカーのPA(音響)&AV機器販売施工、貸しスタジオ&ホール等々…。

今、小川さんが一番力を入れているのは何であろうか。「音楽教室です。そして優秀な生徒を育てることですね。」実際のところ、九州及び全国レベルのコンクールに入賞者を多く出しているそうだ。おとこのゆうえんち(二歳児)、おんがくなかよしコース(三歳児)、幼児科(四〜五歳)、児童科(小学一〜二年生)という風に幼いときからの一貫した教育が功を奏しているようだ。

最近人気のあるコースは、「ゴールデンエイジ・クラス」。いわゆる、子育てが終わり、時間と経済的にゆとりを持ってようになった、五十年代、六十年代以上の方々の教室である。幼いときからあこがれを抱いていた、ピアノとギターを始めとする楽器の演奏を、心置きなく楽しんでおられるそうだ。聞いていて、ほほえましい気が

持ちになってくる。部門は、ポピュラーピアノ、エレクトーン、アンサンブル、大正琴、ゴスペルに分かれている。小川楽器もヤマハと共催で「おやじバンド」による「おやじライブ」を敢行しているそうだ。

また小川さんは、「ホームアンサンブルのできる家族が増えて欲しい」と語る。「ギターを弾く父。ピアノの得意な母、歌の上手は子供たち、誕生日などの大切な家族行事の時には、ホームアンサンブルを是非! こうしたことで、「コミュニケーション」が円滑になり、なごやかで平和な雰囲気は育まれてくるのではないだろうか。」

大川市の音楽文化について苦言も。「大川市は、古賀政男



CD制作もでき、貸しスタジオもある。

様々な楽器や、CDなども販売している



の生誕地です。もっと音楽あふれる町として発展してもいいと思います。行政側も力をもっと入れて欲しいですね。大川市の最も大きいホールである文化センターで、ロックバンドのコンサートができないなど、古い規制が依然として残っているのは今後改善すべき分野ではないでしょうか。」

小川さんには、当会議所常議員として、また心ときめく音楽空間をコーディネートする企業オーナーとして、今後とも音楽文化育成に力を注いでほしい。